

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「変わる」

またまた…Sさんのメールから…

「中島みゆき様の『時代』のように、変わる変わるよ時代は変わる。言葉も変わる。乾田直播も水田植の進化の一形態…」と。

そうですね…それも、すごいスピードで変わっていきますね。冬木立の中に一人取り残されているような私は山姥みたい。

宗教学者・山折哲雄さんの言葉から…

「親鸞の言葉をずうっと受けてきたけど、90歳を過ぎてから、逆に親鸞に言いたいことがいっぱい出てきて…。自分がこんなに変わるんだって、90歳の自分に驚いている」と。

そうですね…自分も変わっていきますよね。

中島みゆきさんの「時代」

「今はこんなに悲しくて涙も枯れ果ててもう二度と笑顔にはなれそうもないけど
そんな時代もあったねといつか話せる日がくるわ（中略）だから今日はくよくよしないで今日の風に吹かれましょう まわるまわるよ時代は回る 喜び悲しみくり返し…」

時代が変わっても…変わらないで欲しいのは、「戦争のない日本」…子供たちのために。

馬車馬のように…

高市さんの言葉で、今年50回忌の祖父を思う。

110年前に、ここで店をゼロからスタート。

働いて働いてくれた…祖父母のおかげで今がある。寝る間もおしみ…がむしゃらに働いた人は、今でもたくさん見ている。その頑張っている姿は、昔から、「馬車馬のよう」と、たとえられてきたけど、なんだかなあ…人にも馬にも思いやりがないような言葉で…好きでない。

（私の勝手な思いですが…）

今年の自然災害は、想定外のクマでしたね。

自然界では弱い人間…助け合っていきましょう。

「仲良きことは美しきかな」（武者小路実篤）

二瀬地区文化祭のトップは、「サザエさん」のテーマソングで、踊る人も見る人も笑顔…笑顔…その中で、一回り大きい体ながら幼稚園児みたいに、うれしそうに踊っているバックダンサーは、おさげ髪をゆらし…手足の先まで楽しそうで、体がはずんでい。こちらまで心がほわほわに…。

「あの人は誰？…女の人？男？」

館長さんだよ…「えー!!」

「館長さんしか見でながった(笑い)」と、言われるくらい一人で皆さんの目を引きつけました。

4月に、二瀬公民館に赴任されたばかりの廣瀬館長さん…まだ40代。若さと人柄で、二瀬のお母さん達のアイドルになったよう…。

館長さん…職員さん…今年もとてもお世話になり感謝!!です。

JA女性部 「サザエさん」



文化祭小さき舞台のつなぐ縁